＜三相 200V＞移動式大型スポットクーラー
業務用【オールクール】
取扱説明書

スポットクーラー・冷風機・ミスト扇風機
レンタル専門店

笑顔のバトンタッチ
上州物産株式会社

〒379−2166
群馬県前橋市野中町369−2
TEL：027−289−6080
FAX：027−289−6166
緊急連絡先：080−5643−7181

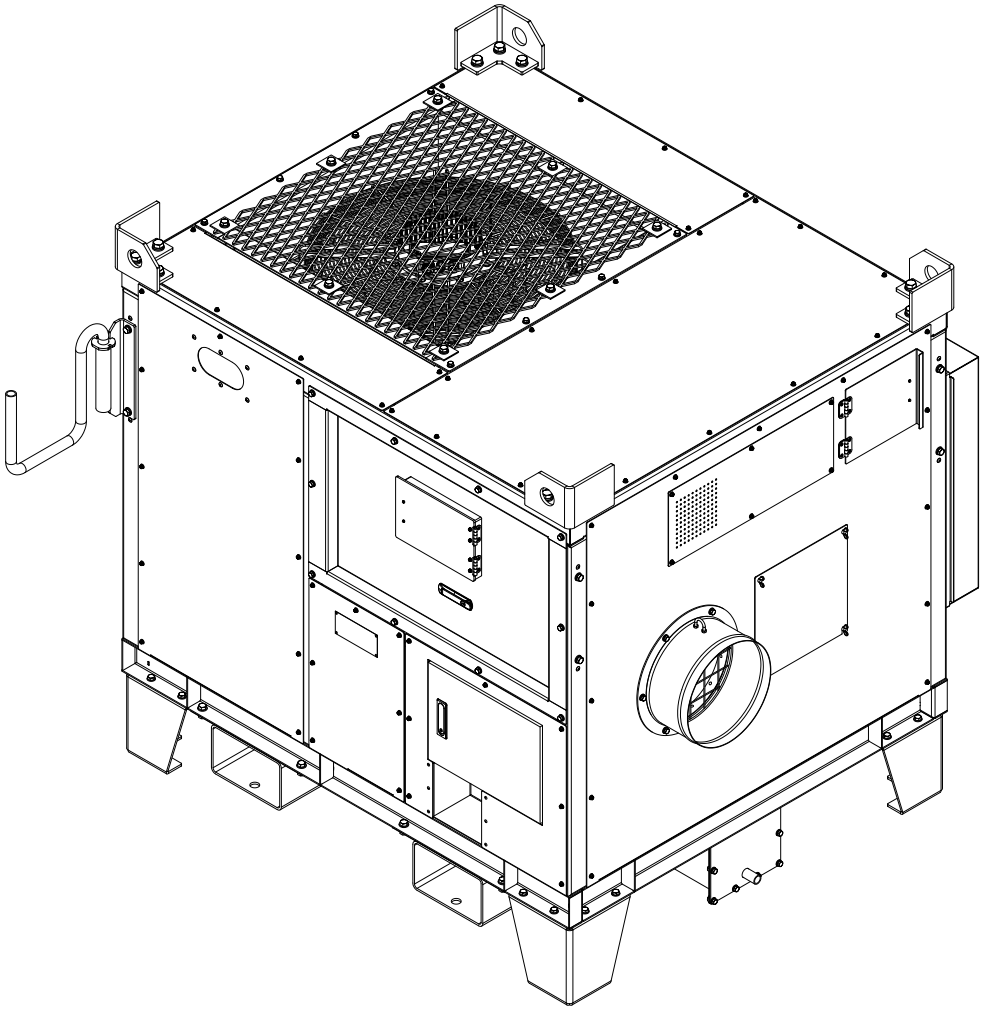
目次

１メーカー取説
２返送時の.梱包方法

取扱説明書

スポットクーラ（10 馬力）

型式	電源	種類
URTJ-2-230A00-01	三相 200V 50/60Hz	循環式



この度は、潮冷熱の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用の前に、安全上のご注意（2 ページ）を必ずお読みください。

潮冷熱株式会社

目次

1. 安全上のご注意 2
2. 簡易点検・定期点検のお願い 4
3. 各部の名称 5
3.1. 本体 5
3.2. 操作部 6
3.3. 圧力計 6
3.4. 制御盤・端子箱内部 7
4. 装置の構成 8
5. 運搬のしかた 9
6. 設置のしかた 10
6.1. 設置場所 10
6.2. ダクトの接続 11
6.3. ホースの接続 12
6.4. 電源ケーブルおよびアース線の接続 13
7. 運転のしかた 15
7.1. 電源の ON・OFF 15
7.2. 基本操作 16
7.3. 適切な風量の選び方 17
7.4. ランプの点灯パターン 18
7.5. 設定温度を変更したいとき 19
8. お手入れのしかた 20
8.1. フィルタの清掃 20
8.2. 熱交換器の清掃 21
8.3. 外部ドレンパン内部の清掃と点検 22
9. 長時間運転しないとき 23
10. 保管するとき 23
11. 廃棄するとき 23
12. 調子がおかしいとき 24
12.1. 異常ランプが点灯している場合 24
12.2. 異常ランプが点滅している場合 26
12.3. 異常ランプが消灯している場合 27
13. 交換部品 29

1. 安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った取り扱いをすることによって生じる危害や損害の程度に応じて、次のように区分しています。

⚠警告	死亡または重症を負うおそれがあります。
⚠注意	傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがあります。

⚠警告	
全般	■ 改造しないでください。火災や感電などの原因になります。 ■ 指定した冷媒以外は充填しないでください。爆発や火災の原因になります。 ■ 可燃性ガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）を装置の近くに置いたり、装置の近くで使用したりしないでください。火災の原因になります。 ■ 雨天時は制御盤および端子箱を開けないでください。雨水が侵入し、火災や感電の原因になります。 ■ 本装置は防雨構造ですので通常の風雨には耐えますが、大量の水（ゲリラ豪雨や台風の雨など）がかからないようにしてください。火災や感電、故障の原因になります。
運搬	■ クレーンで運搬する場合は 4 点吊りとし、吊り角度は 60° 以下としてください。装置が落下し、けがや破損の原因になります。 ■ クレーンやフォークリフトの操作は、関連法規に従い、有資格者が行ってください。
設置	■ 装置の重量に十分耐え得る、水平で安定した場所に設置してください。装置の落下や転倒により、けがや破損の原因になります。 ■ 鉄粉や腐食性ガスが通常よりも多く存在する場所（製鉄所、温泉地、鉱山など）には設置しないでください。熱交換器の腐食や電気回路の短絡が発生し、火災、感電、ガス漏れなどの原因になります。 ■ 可燃性ガスが漏れるおそれがある場所に設置しないでください。ガスが漏れた場合、火災の原因になります。 ■ 電源ケーブルを脱着するときは、装置側および電源側（分電盤や発電機など）のブレーカが OFF になっていることを確認してください。火災や感電の原因になります。 ■ アース線は必ず接続してください。火災や感電の原因になります。 ■ 電気工事は、関連法規に従い、有資格者が行ってください。

⚠警告	
運転	■ 濡れた手でブレーカやスイッチを操作しないでください。感電の原因になります。 ■ 運転を停止するときは、停止ボタンで行ってください。ブレーカによって停止させると、火災や故障の原因になります。 ■ 異常を感じたとき（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源を OFF にしてください。運転を続けると、火災や感電、故障などの原因になります。 ■ 吸込口や吹出口に指や棒などを入れないでください。ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。 ■ 外板を外した状態で運転しないでください。回転部、高温部、充電部が露出し、けが、やけど、感電の原因になります。
お手入れ	■ お手入れするときは、運転を停止して電源を OFF にしてください。けがや感電の原因になります。 ■ 装置を水洗いしたり、高圧洗浄機で清掃したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
保管	■ 段積みして保管する場合は 2 段積みまでとし、地震などに備えて転倒防止の処置を行ってください。装置が落下し、けがや破損の原因になります。

⚠注意	
全般	■ 装置の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。けがの原因になります。 ■ 圧縮機や冷媒配管に触れないでください。やけどの原因になります。
運搬	■ 装置に強い振動や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
運転	■ 運転する 1 時間以上前に装置の電源を入れてください。圧縮機の潤滑不良が起こり、故障の原因になります。 ■ 長時間運転しないときは、装置の内部乾燥を行ってください。熱交換器や筐体が老朽化する原因になります。
お手入れ	■ 化学薬品は使用しないでください。故障や老朽化の原因になります。

2. 簡易点検・定期点検のお願い

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品に該当し、簡易点検および定期点検が義務付けられています。必ず点検を実施し、記録を保管してください。

点検	内容	頻度	記録事項	実施者
簡易点検	・製品からの異音、製品外観（配管含む）の損傷、腐食、錆び、油にじみ等の冷媒漏洩の徴候の有無	3 カ月に 1 回以上	・点検年月日 ・実施の有無	指定なし
定期点検	・機器の異音、外観検査 ・直接法や間接法による専門的な冷媒漏洩の検査	3 年に 1 回以上	・点検年月日 ・実施者の氏名 ・内容と結果	十分な知見を有する者

定期点検については、十分な知見を有する者が自ら行うか、立ち会うことが必要です。専門業者に依頼するか、弊社にご用命ください。

十分な知見を有する者の例

① 冷媒フロン類取扱技術者

② 一定の資格等を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講した者

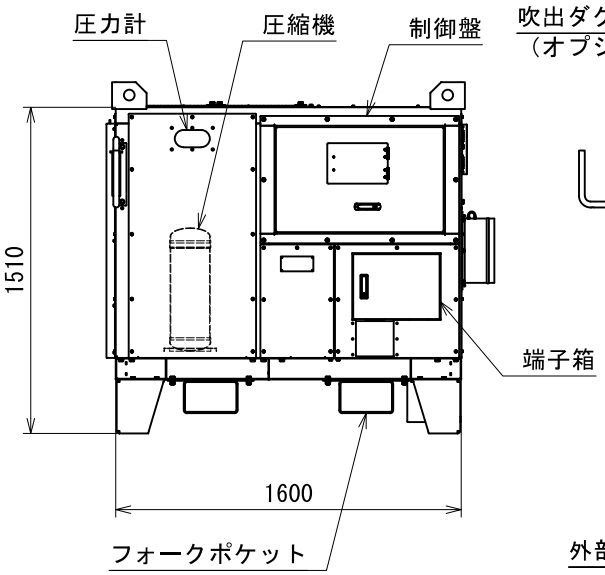
- 冷凍空調技士
- 高圧ガス製造保安責任者
- 冷凍空気調和機器施工技能士
- 冷凍空調工事保安管理者　など

③ 十分な実務経験を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講した者

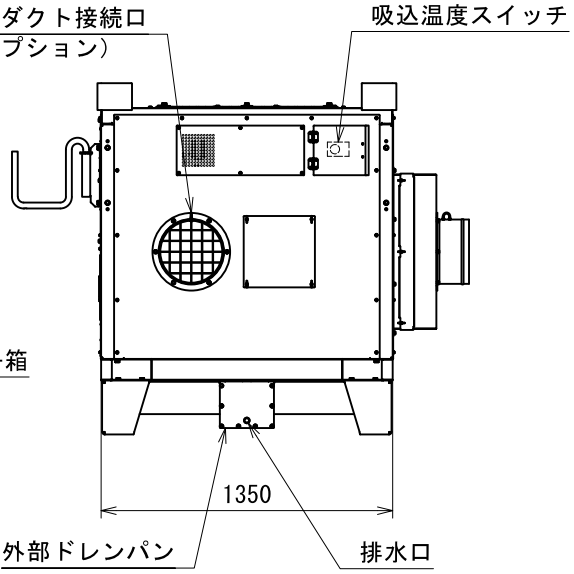
3. 各部の名称

3.1. 本体

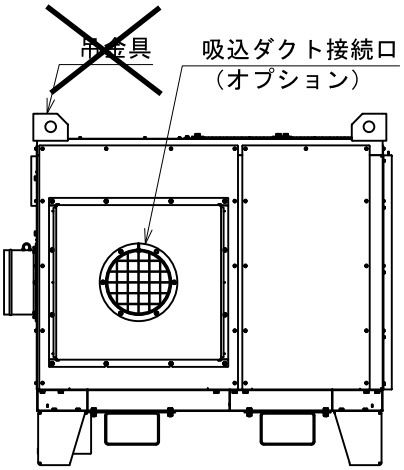
≪正面≫



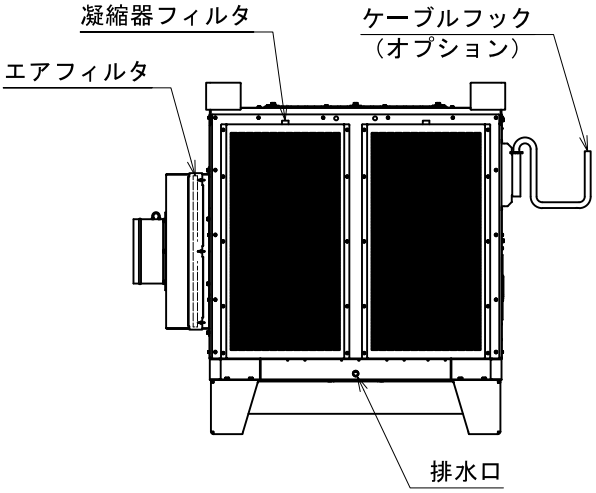
≪右側面≫



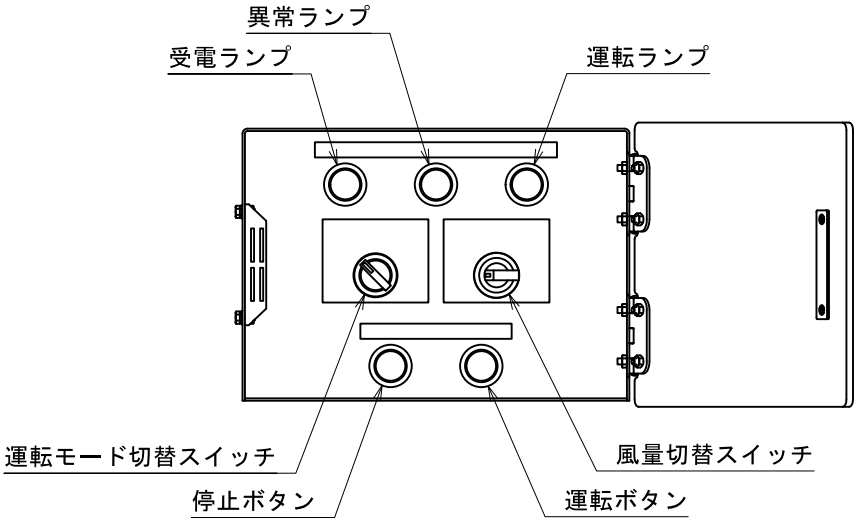
≪背面≫



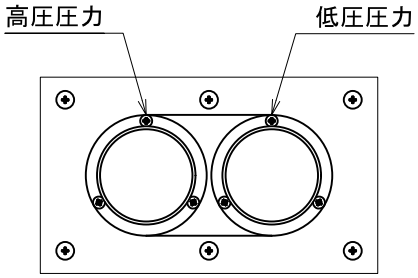
≪左側面≫



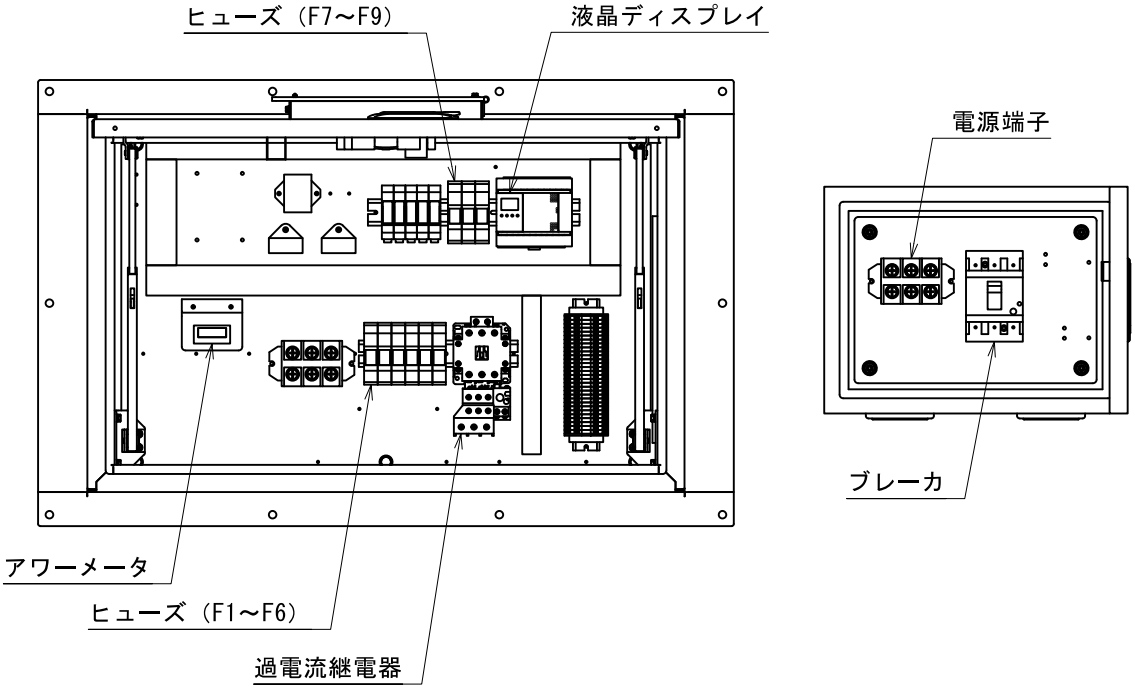
3.2. 操作部


異常ランプ
受電ランプ
運転ランプ
運転モード切替スイッチ
風量切替スイッチ
停止ボタン
運転ボタン

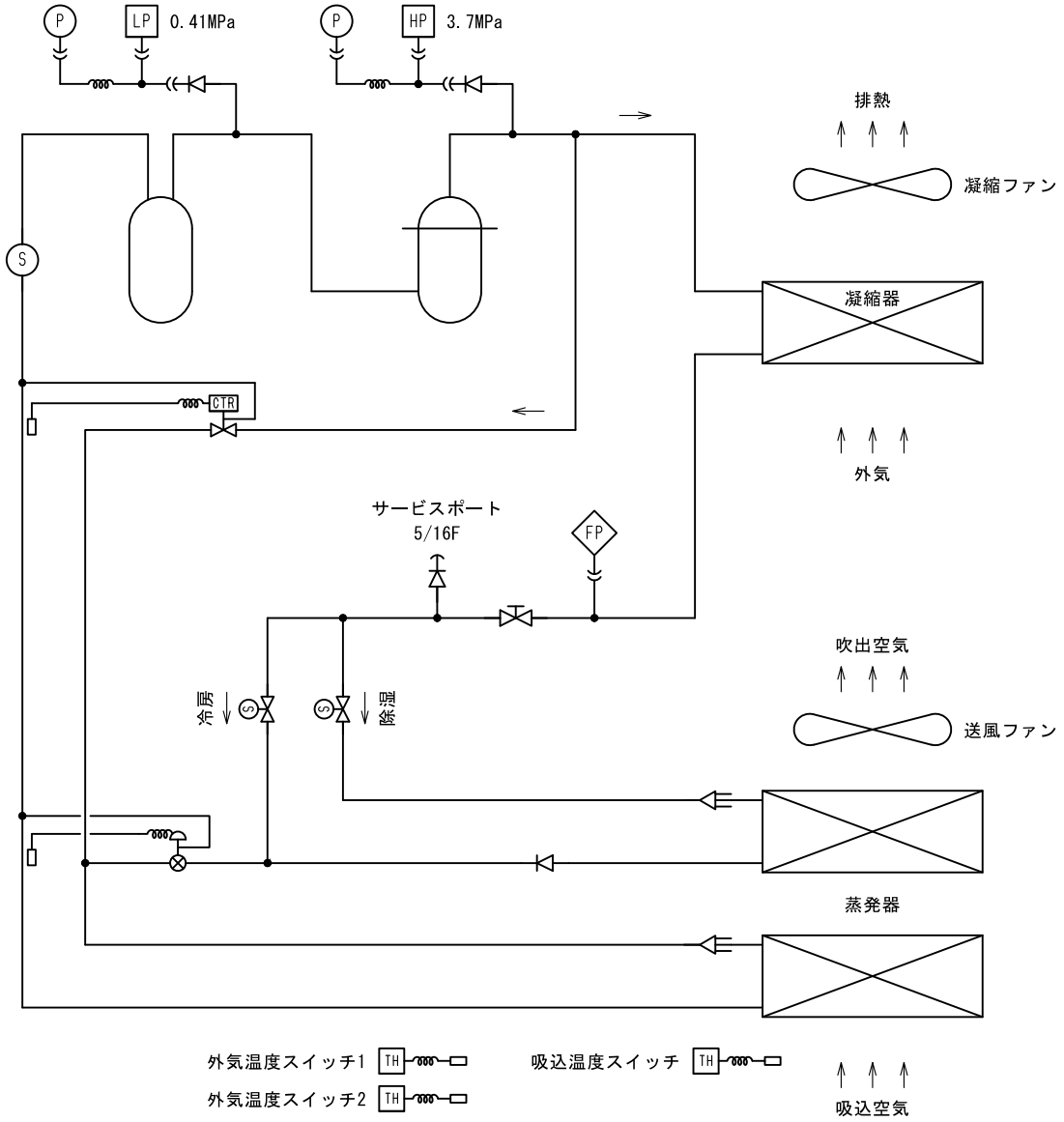
3.3. 圧力計


高圧圧力
低圧圧力

3.4. 制御盤･端子箱内部



4. 装置の構成

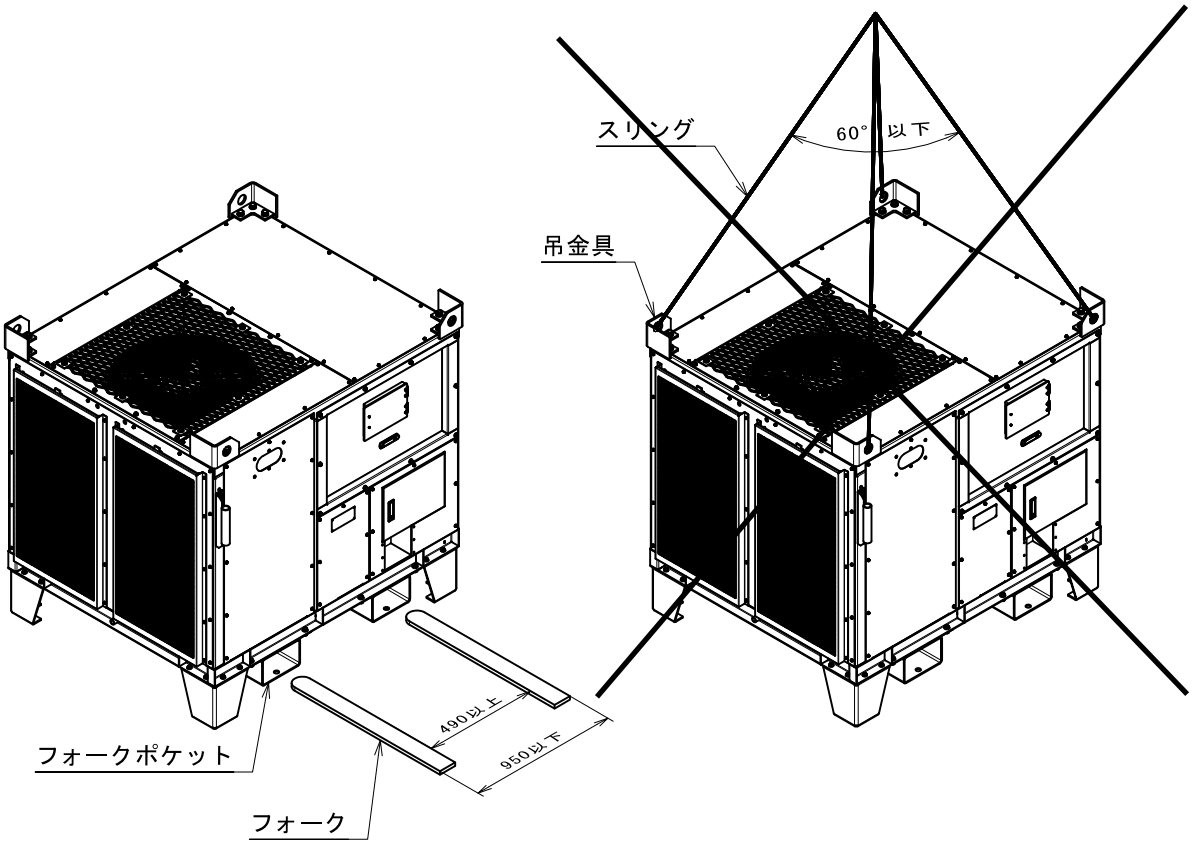


＜記号＞

	圧縮機	CTR	容量調整弁	S	ストレーナ	FP	可溶栓
	アキュムレータ		ディストリビュータ	P	圧力計		キャピラリチューブ
	送風機		手動弁	HP	高圧圧力スイッチ		フレア接続
	熱交換器	S	電磁弁	LP	低圧圧力スイッチ		
	膨張弁		逆止弁	TH	温度スイッチ		

5. 運搬のしかた

運搬するときは、フォークリフトまたはクレーンを使用してください。



フォークリフトで運搬する場合

- フォークポケットにフォークを差し込んでください。
- フォークの取付幅は、下記寸法に調節してください。
  内寸: 490 以上、外寸: 950 以下

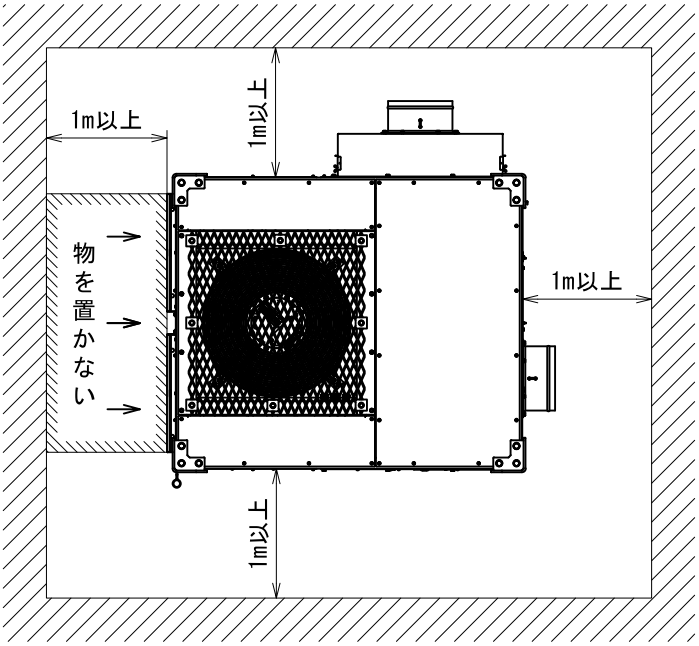
クレーンで運搬する場合

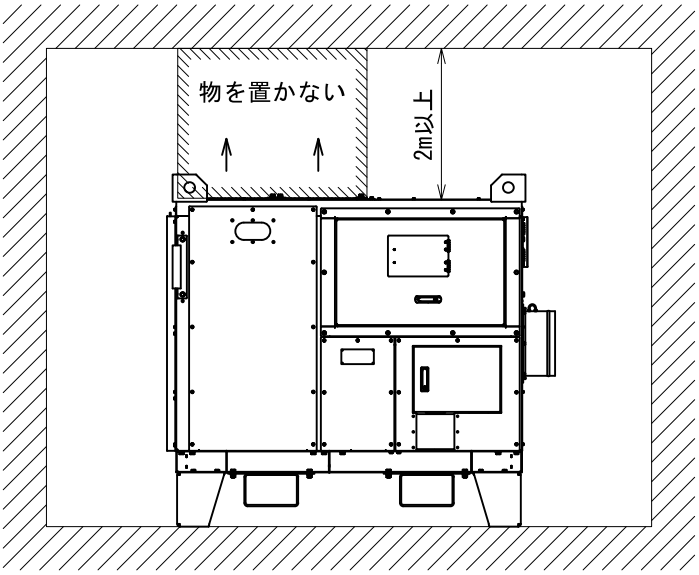
- 吊金具にフックをかけてください。
- 4 点吊りとしてください。
- 吊角度は 60° 以下にしてください。

6. 設置のしかた

6.1. 設置場所

風通しの良い、水平で安定した場所に設置してください。通風およびメンテナンスのため、装置の周囲に 1m 以上、上部に 2m 以上の空間を確保してください。空気の出入口には、物を置かないようにしてください。運転中は結露やドレン水が発生しますので、水濡れ厳禁の場所や排水できない場所には設置しないでください。

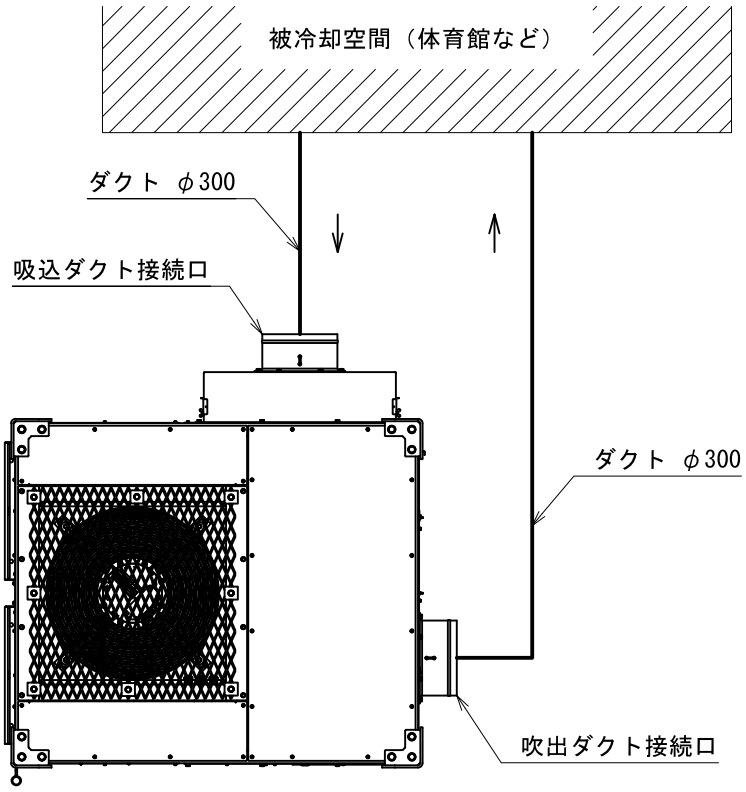




6.2. ダクトの接続

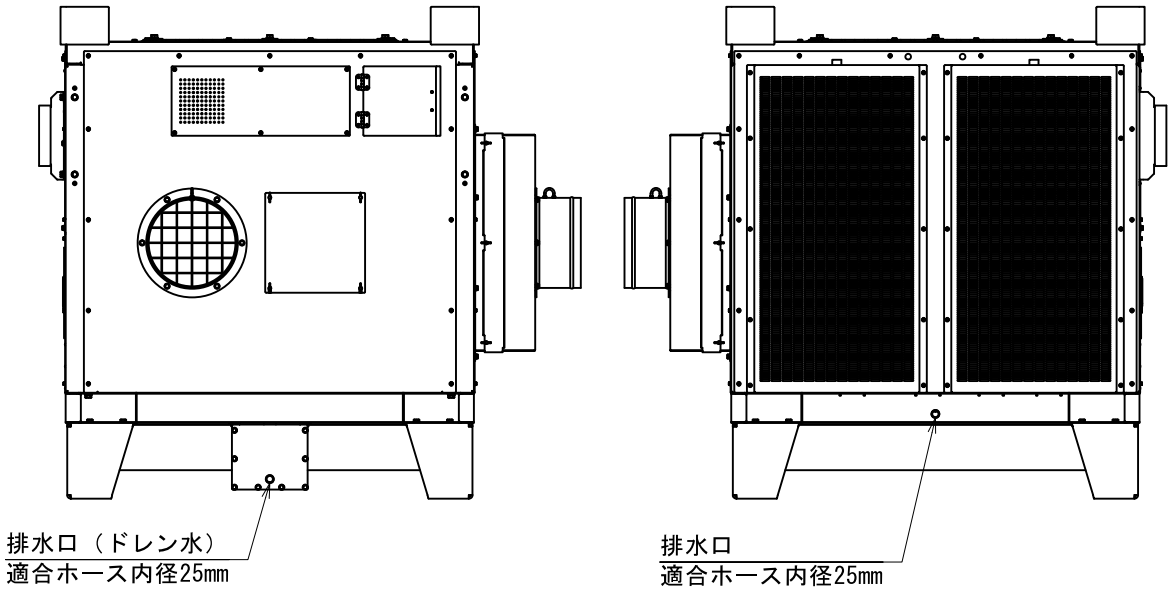
吹出および吸込ダクト接続口にダクトを接続してください。保温付きダクトを使用すると、外気からの熱の侵入を防ぐことができますので、冷房効率が良くなります。ダクトは、折り曲げたり塞いだりしないでください。

接続例



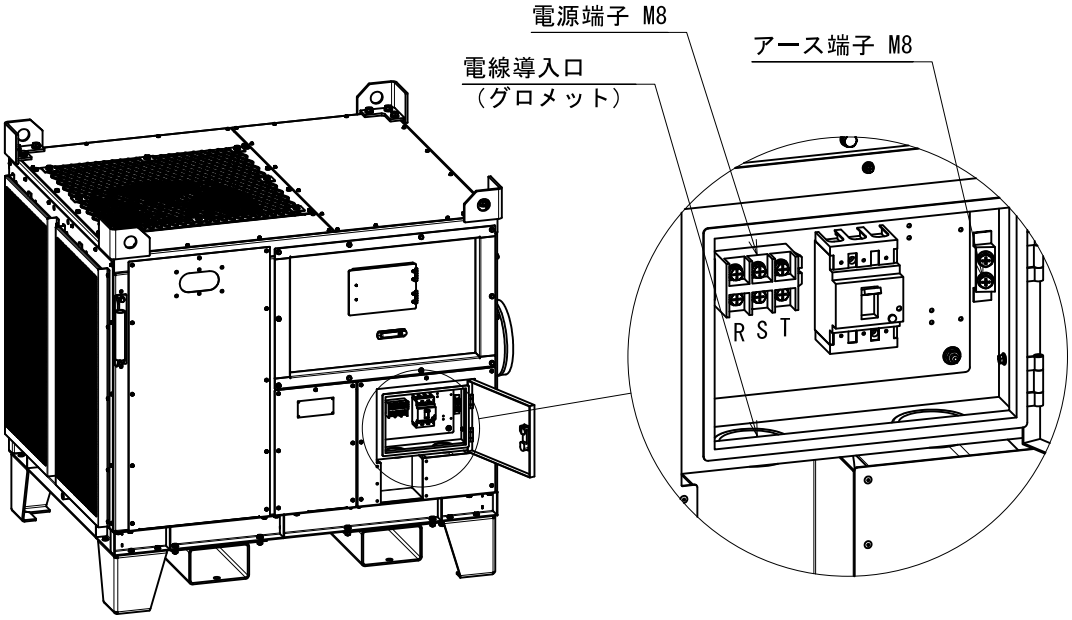
6.3. ホースの接続

装置を運転すると、排水口から水が排出されます。装置右側の排水口からはドレン水が排出され、その量は 1 時間あたり 25L を超える場合があります。水はけの悪い場所で運転する場合は、排水口にホースを接続し、排水溝や水はけの良い場所に導いてください。ホースは、排水口よりも高くならないように、できるだけ低い位置に設置してください。



6.4. 電源ケーブルおよびアース線の接続

端子箱内の電源端子に電源ケーブル、アース端子にアース線を接続してください。電源ケーブルおよびアース線は、電線導入口から導入してください。電源ケーブルは、R 相、S 相、T 相を正しく接続してください。

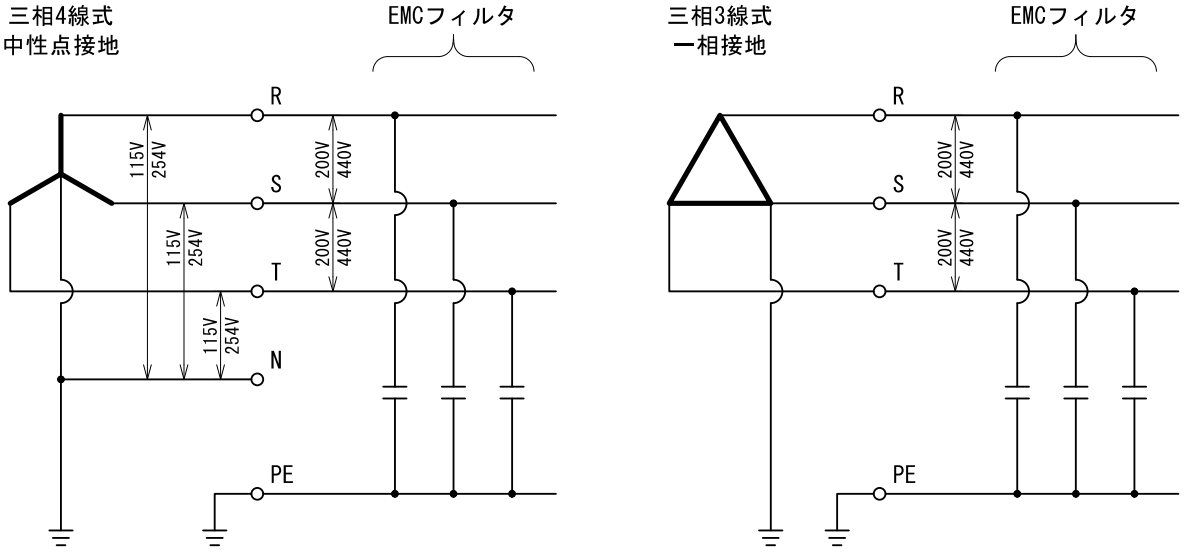


電源	装置側の漏電ブレーカ		推奨 電源ケーブル	推奨 アース線	接地 種別
	定格電流	定格 感度電流			
三相 200V 50/60Hz	75A	100mA （0.1 秒以下）	2PNCT-22-3C	5.5sq	D 種

装置に供給する電圧は、定格の±10%以内にしてください。

漏れ電流について

本装置の EC ファンは EMC フィルタを内蔵していますので、電源の高調波成分が漏れ電流として発生します。EC ファンからの漏れ電流は、三相 4 線式（中性点接地）の電源に接続した場合、3.5mA 以下になるように設計されています。しかし、三相 3 線式（一相接地）の電源に接続した場合、各相の対地電圧がアンバランスになるため、これよりも大きな漏れ電流が発生します。また、電源品質が悪く、各相の電圧にばらつきがあると、その分だけ漏れ電流は大きくなります。装置内蔵の漏電ブレーカは、三相 3 線式の電源に対応するため、定格感度電流を 100mA に設定しています（13 ページ）。



電源側に漏電ブレーカを設置する場合

電源が三相 3 線式の場合、前述のように漏れ電流が大きくなります。意図しない漏電ブレーカの作動を防止するため、高調波・サージ対応形の漏電ブレーカを使用し、装置側との保護協調を取ってください。

発電機を使用する場合

三相 4 線式と三相 3 線式の切り替えが可能な機種は、三相 4 線式で使用してください。

7. 運転のしかた

7.1. 電源の ON・OFF

圧縮機を予熱するため、運転する 1 時間以上前に電源を ON にしてください。電源を OFF にするときは、運転ランプが消灯し、装置が停止していることを確認してください（18 ページ）。

電源を ON にするとき

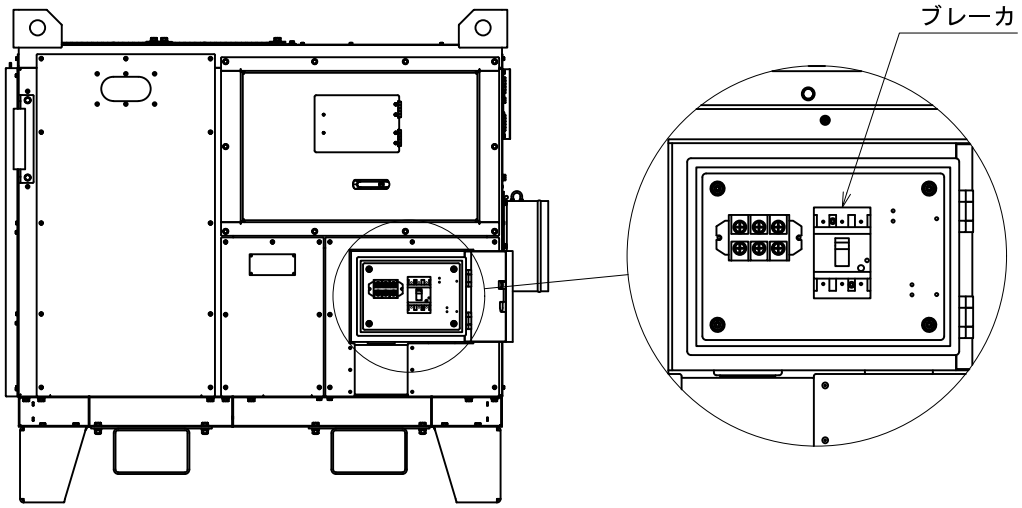
① 電源側（分電盤や発電機など）のブレーカを ON にしてください。

② 装置のブレーカを ON にしてください。

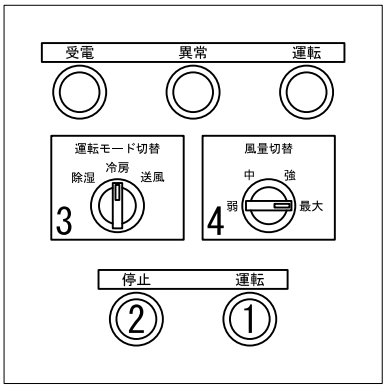
電源を OFF にするとき

① 装置のブレーカを OFF にしてください。

② 電源側（分電盤や発電機など）のブレーカを OFF にしてください。



7.2. 基本操作



運転したいとき

①運転ボタンを押してください。

停止したいとき

②停止ボタンを押してください。

運転モードを変えたいとき

③運転モード切替スイッチで運転モードを選択してください。

風量を変えたいとき

④風量切替スイッチで風量を選択してください。適切な風量の選び方は、17 ページをご覧ください。

設定温度（冷房・除湿）

吸込空気の温度が設定温度（工場出荷時 15℃に設定）以下になると、圧縮機が停止して送風運転に切り替わります。吸込空気の温度が設定温度+2.5℃以上になると、圧縮機が起動して元の運転モードに戻ります。設定温度の変更方法は、19 ページをご覧ください。

圧縮機の起動制限（冷房・除湿）

圧縮機を保護するため、圧縮機は一度停止すると 3 分間は再起動しません。

停止前の送風運転（冷房・除湿）

装置内部の乾燥と放熱のため、停止ボタンを押しても 3 分間は送風が継続します。

異常が発生した場合

装置の一部に異常が発生した場合でも、正常な機器は運転を継続します。異常が発生した場合は、異常ランプが点灯または点滅します。詳細は、18 ページをご覧ください。

冷房運転時の動作

冷房運転時は、圧縮機が起動してから冷え始めるまでに時間がかかります（約 2 分）。

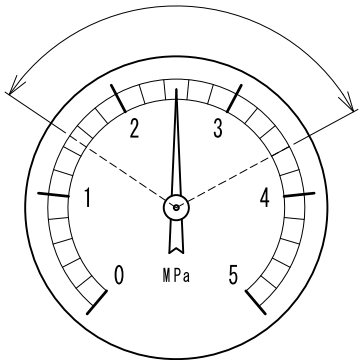
7.3. 適切な風量の選び方

冷房または除湿運転を行う場合、風量によって高圧圧力および低圧圧力が変化します。風量が多い場合は高圧圧力異常、少ない場合は低圧圧力異常が発生しやすくなりますので、風量切替スイッチで適切な風量を選択してください。特に、気温が高い場合は高圧圧力異常、気温が低い場合は低圧圧力異常が発生しやすくなります。風量は、ダクトの径や長さ、分岐数などによって変化しますので、下表を目安とし、高圧圧力が 1.5～3.6MPa、低圧圧力が 0.55～1.0MPa となるように風量を選択してください。風量を上げると圧力が上昇し、風量を下げると圧力が下降します。

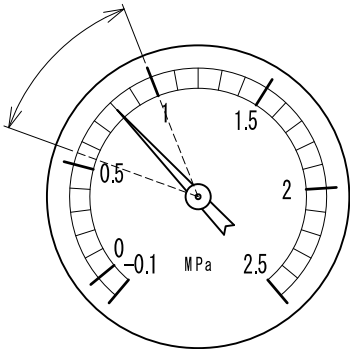
φ300 のダクトを接続した場合

風量切替スイッチ	ダクト長の目安 （吸込側と吹出側の合計）
弱	15m 以下
中	15～35m
強	35～60m
最大	60m 以上

≪高圧圧力≫

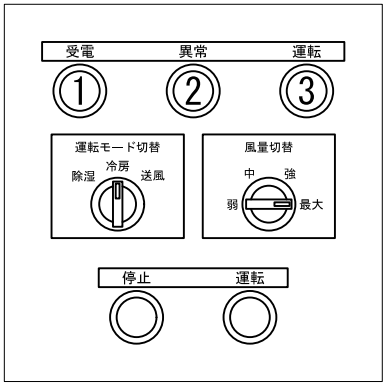


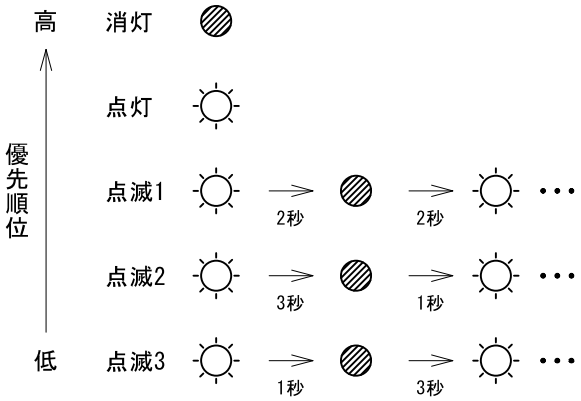
≪低圧圧力≫



高圧圧力異常が発生する場合は風量を下げる、低圧圧力異常が発生する場合は風量を上げると、症状が改善する場合があります。風量を変えても改善が見られない場合は、26 ページの内容を確認してください。

7.4. ランプの点灯パターン

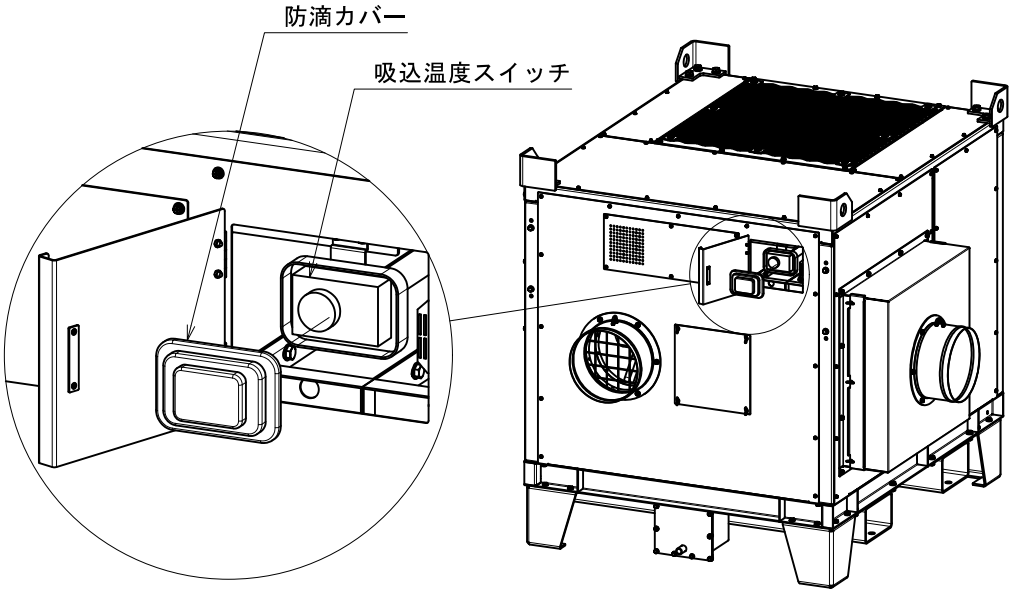




点灯パターン		説明
①受電ランプ	消灯	電源が OFF になっています。
	点灯	電源が ON になっています。
②異常ランプ	消灯	異常はありません。
	点灯	異常が発生しました。液晶ディスプレイで異常の内容を確認し、処置を行ってください。その後、停止ボタンを長押しして異常をリセットしてください。 →24 ページ
	点滅 1	高圧圧力スイッチまたは低圧圧力スイッチが作動したため、圧縮機が停止しました。自動的にリトライを行いますので、処置の必要はありません。 →26 ページ
③運転ランプ	消灯	停止しています。
	点灯	通常の運転をしています。
	点滅 1	停止前の送風運転中です。3 分後に停止します。 →16 ページ
	点滅 2	吸込空気の温度が設定温度以下になったため、送風運転を行っています。吸込空気の温度が上昇すると、冷房運転に戻ります。 →16 ページ
	点滅 3	圧縮機が再起動待ちです。3 分後に圧縮機が起動します。 →16 ページ
		異常が発生しましたが、正常な機器で運転しています。 →16 ページ

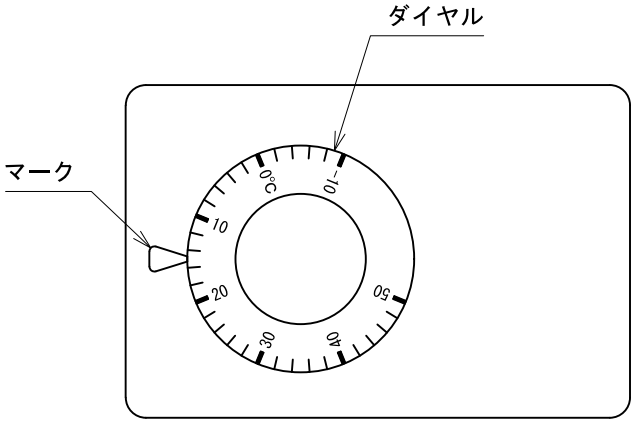
7.5. 設定温度を変更したいとき

設定温度は、装置右側面の吸込温度スイッチで変更することができます。温度スイッチには防滴カバーがついていますので、操作するときは取り外してください。蒸発器が凍結する恐れがありますので、設定値を 15℃以下にしないでください。



温度スイッチの操作方法

ダイヤルを回し、マークの位置に設定温度を合わせてください。下図の場合、設定温度は 15℃になります。



8. お手入れのしかた

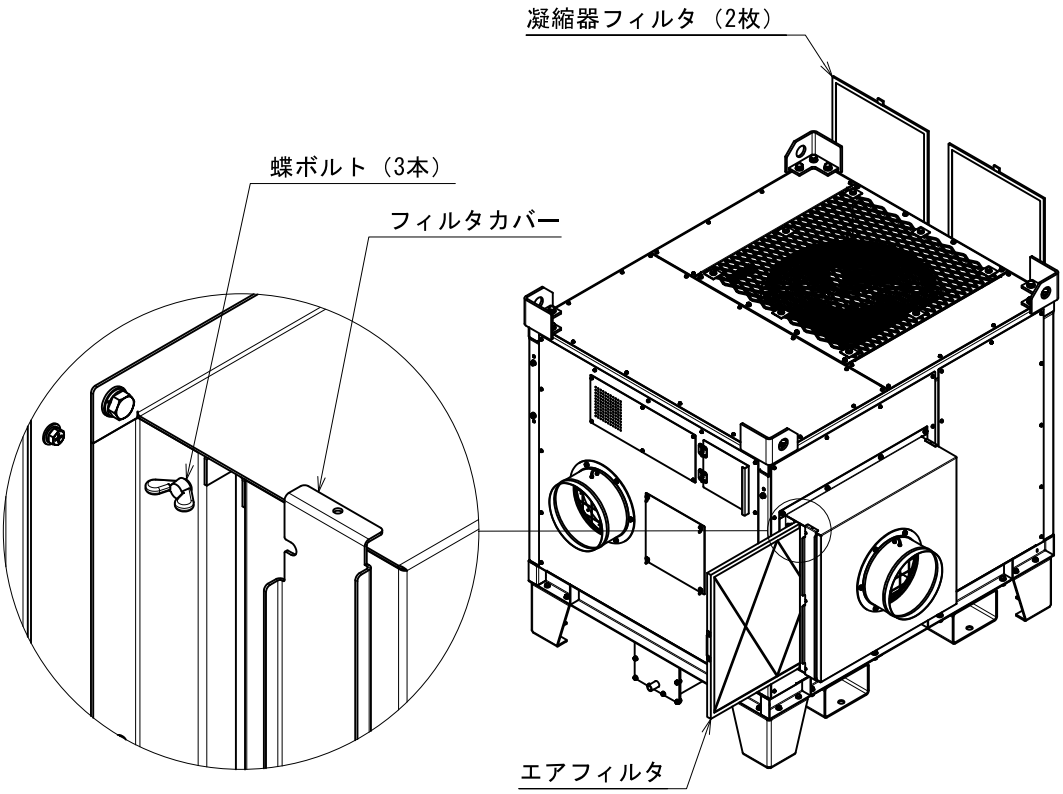
8.1. フィルタの清掃

1 週間に 1 回を目安に、フィルタを清掃してください。ホコリが多い場所で使用する場合は、清掃の頻度を多くしてください。

フィルタの取り外し方

エアフィルタ: 蝶ボルトを緩めてフィルタカバーを外すと、横から引き抜くことができます。

凝縮器フィルタ: 上から引き抜くことができます。



フィルタの清掃方法

掃除機などでホコリを取り除き、水または 50℃以下のぬるま湯で清掃してください。清掃後は、乾燥させてから元の位置に取り付けてください。汚れや損傷がひどい場合は、新品に交換してください。

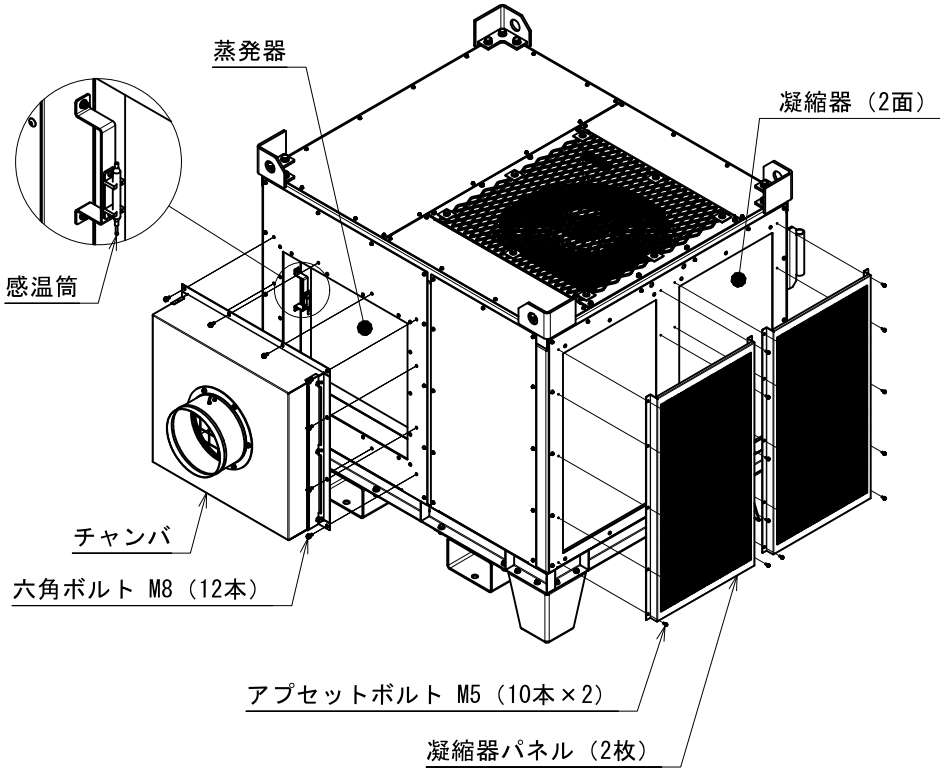
8.2. 熱交換器の清掃

1 年に 1 回を目安に、熱交換器を清掃してください。ホコリが多い場所で使用する場合は、清掃の頻度を多くしてください。

熱交換器へのアクセス方法

蒸発器: 六角ボルトを外し、チャンバを取り外します。

凝縮器: アプセットボルトを外し、凝縮器パネルを取り外します。



熱交換器の清掃方法

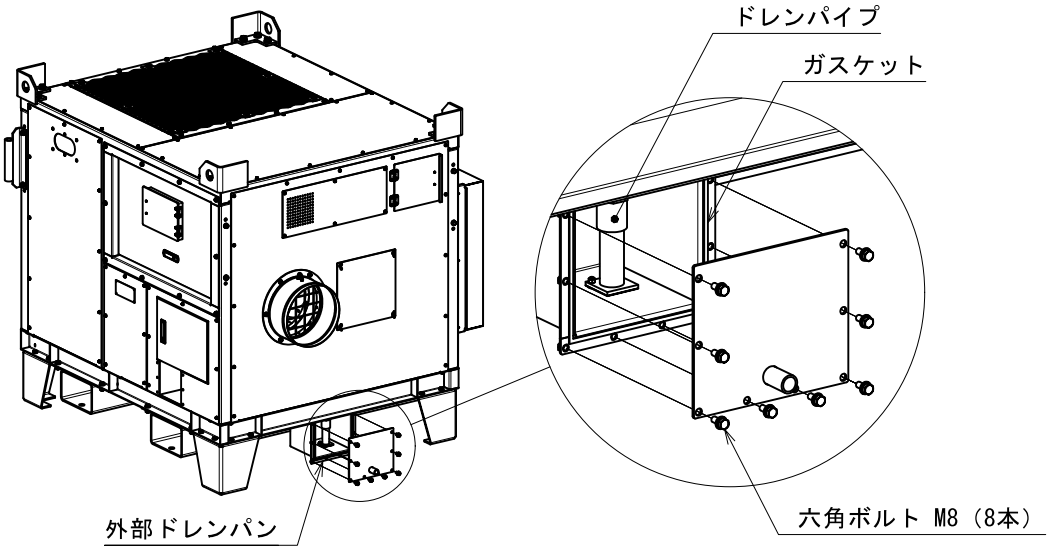
エアブローで清掃してください。清掃時は、感温筒を損傷しないように注意してください。エアブローで落ちない汚れがある場合は、弊社にご相談ください。

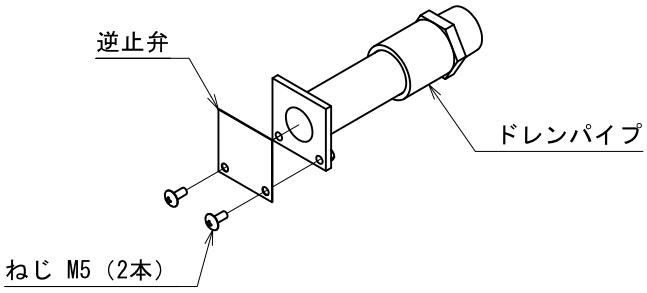
8.3. 外部ドレンパン内部の清掃と点検

1 年に 1 回を目安に、外部ドレンパン内部の清掃と点検を行ってください。ホコリが多い場所で使用する場合は、清掃の頻度を多くしてください。

外部ドレンパンの分解方法

六角ボルトを外し、ふたを取り外してください。ドレンパイプは、反時計回りに回すと取り外すことができます。





外部ドレンパンの清掃・点検方法

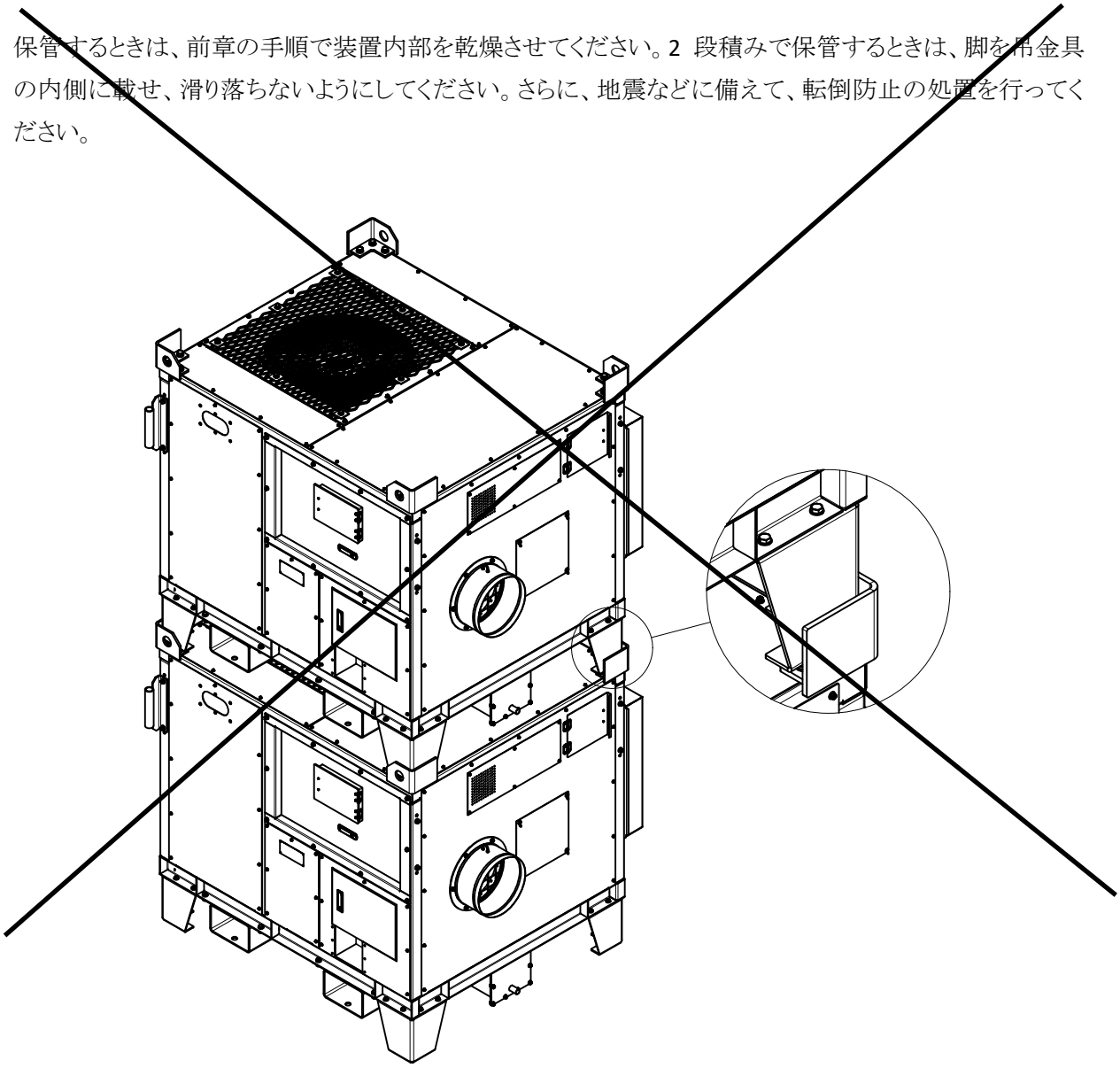
外部ドレンパン内部を水洗いし、溜まった泥等を除去してください。逆止弁にひび割れ等の損傷がみられる場合は、新品に交換してください。ガスケット部から水が漏れる場合は、ガスケットを新品に交換してください。

9.　長時間運転しないとき

長時間運転しないときは、4 時間以上送風運転を行い、装置内部を乾燥させてください。

10. 保管するとき

保管するときは、前章の手順で装置内部を乾燥させてください。2 段積みで保管するときは、脚を吊金具の内側に載せ、滑り落ちないようにしてください。さらに、地震などに備えて、転倒防止の処置を行ってください。



11. 廃棄するとき

廃棄するときは、装置内の冷媒を回収する必要があります。弊社にご相談ください。

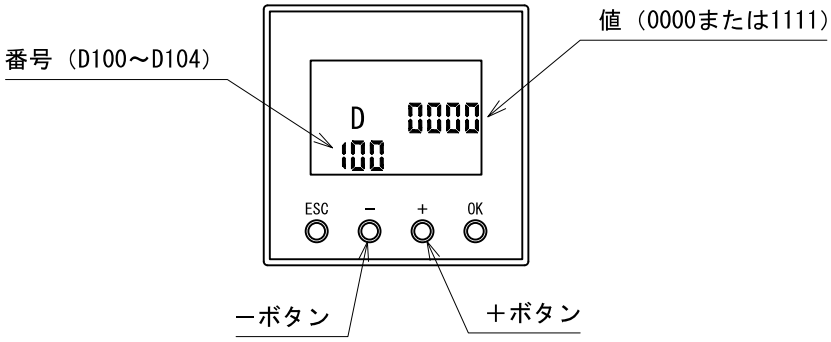
12. 調子がおかしいとき

12.1. 異常ランプが点灯している場合

制御盤内の液晶ディスプレイで異常の内容を確認し、処置を行ってください。処置を行った後、停止ボタンを長押し（3 秒以上）すると、異常がリセットされます。異常がリセットされない場合は、弊社にご相談ください。

液晶ディスプレイの操作方法

① バックライトが消灯しているときは、任意のボタンを押してください。バックライトが点灯します。
② 表示されている番号と値を確認してください。値が 0000 なら正常、1111 なら異常です。
③ ＋ボタン（順送り）または－ボタン（逆送り）を押して、次の値を表示させてください。
④ ②と③を繰り返し、D100～D104 までの値を確認してください。



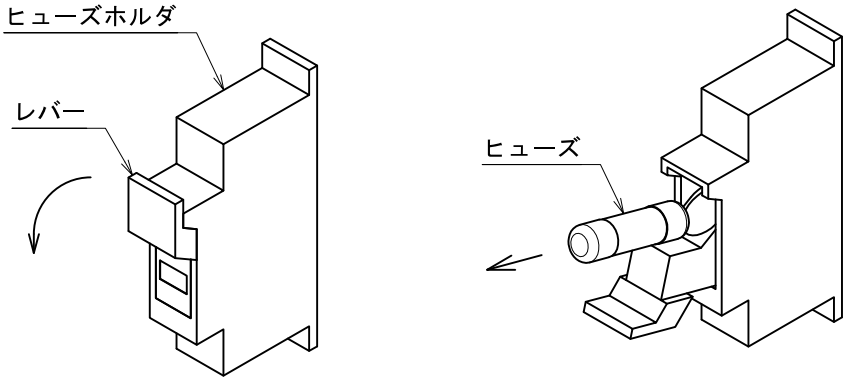
番号	異常の内容	処置
D100	送風ファン異常	ヒューズ（F1～F3）が切れている場合は交換してください。切れていない場合は、モータの温度が下がるまで（約 5 分）お待ちください。
D101	凝縮ファン異常	ヒューズ（F4～F6）が切れている場合は交換してください。切れていない場合は、モータの温度が下がるまで（約 5 分）お待ちください。
D102	圧縮機過電流	過電流継電器をリセットしてください。
D103	高圧圧力異常	高圧圧力が 2.9MPa 以下になるまでお待ちください。
D104	低圧圧力異常	低圧圧力が 0.66MPa 以上になるまでお待ちください。

ヒューズの交換方法

① ヒューズホルダのレバーを引いてください。

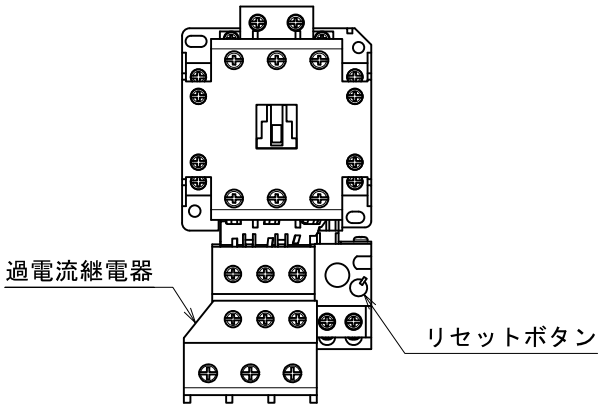
② ヒューズを引き抜き、新しいヒューズを挿入してください。

③ レバーを元の位置に戻してください。



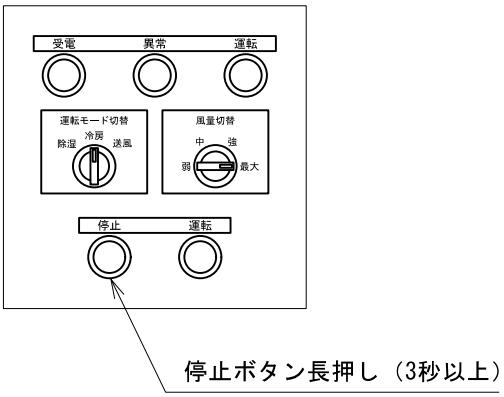
過電流継電器のリセット方法

過電流継電器のリセットボタンを押してください。



異常のリセット方法

異常の原因が取り除かれても、異常をリセットするまでは異常状態が保持されます。停止ボタンを長押し（3 秒以上）すると、異常がリセットされます。



異常が頻繁に発生する場合

高圧圧力異常または低圧圧力異常が頻繁に発生する場合は、以下の項目を確認してください。

高圧圧力異常が頻繁に発生する場合	低圧圧力異常が頻繁に発生する場合
■ 風量が適切かどうか（17 ページ） ■ 凝縮器フィルタが汚れていないか ■ 凝縮器が汚れていないか ■ 凝縮器の空気出入口に物を置いていないか ■ 風通しの悪い場所に設置していないか ■ 外気温度が運転可能範囲内かどうか	■ 風量が適切かどうか（17 ページ） ■ エアフィルタが汚れていないか ■ 蒸発器が汚れていないか ■ ダクトが折れ曲がっていないか ■ ダクトが塞がれていないか ■ 吸込空気温度が運転可能範囲内かどうか

12.2. 異常ランプが点滅している場合

高圧圧力スイッチまたは低圧圧力スイッチが作動した場合、圧縮機が停止して異常ランプが点滅します。自動的にリトライを行いますので、処置の必要はありません。リトライ中は風量が通常運転時から変化していますが、時間が経過する（1～3 時間程度）と元に戻ります。

リトライについて

高圧圧力異常および低圧圧力異常は、風量を調整することによって回避できる可能性がありますので、風量を変更して最大で 3 回までリトライを行います。4 回目のリトライが発生した場合や風量調整の限界に到達した場合は高圧圧力異常または低圧圧力異常となり、異常ランプが点灯します。

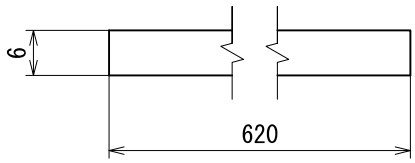
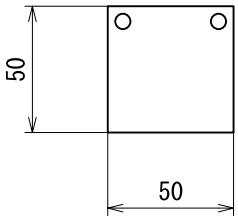
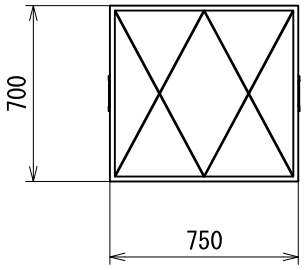
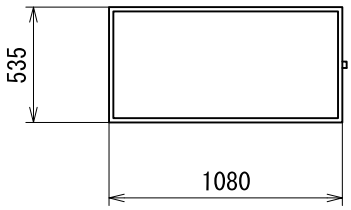
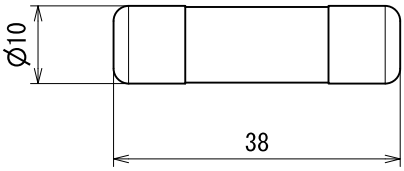
12.3. 異常ランプが消灯している場合

以下の内容を確認してください。それでも解決しないときは、弊社にご相談ください。

状況		考えられる原因	処置
運転しない	受電ランプが消灯	電源が OFF になっている	電源を ON にしてください。 →15 ページ
		ヒューズ（F7～F9）が切れている	ヒューズを交換してください。 →25 ページ
	受電ランプが点灯	電源ケーブルの接続が間違っている	電源ケーブルを正しく接続してください。 →13 ページ
		ヒューズ（F8）が切れている	ヒューズを交換してください。 →25 ページ
	運転ランプが点滅 （1 秒点灯→3 秒消灯）	圧縮機が再起動待ち	異常ではありません。3 分後に圧縮機が起動します。 →16 ページ
運転が止まる	運転ランプが点滅 （3 秒点灯→1 秒消灯）	吸込空気の温度が設定温度以下になったため、圧縮機が停止した	異常ではありません。吸込空気の温度が上昇すると、圧縮機が起動します。 →16 ページ
停止しない	運転ランプが点滅 （2 秒点灯→2 秒消灯）	装置内部の乾燥と放熱を行っている	異常ではありません。3 分後に停止します。 →16 ページ

状況		考えられる原因	処置
冷えない	運転ランプが点滅 （3 秒点灯→1 秒消灯）	設定温度が高い	設定温度を適切な値に変更してください。 →16 ページ
	風が冷たくない	運転モード切替スイッチが送風または除湿になっている	冷房運転にしてください。 →16 ページ
	風が弱い	風量が弱または中になっている	風量を上げてください。 →16 ページ
		エアフィルタが詰まっている	エアフィルタを掃除してください。 →20 ページ
		蒸発器が詰まっている	蒸発器を清掃してください。 →21 ページ
		ダクトが折れ曲がっている、または塞がっている、または風が漏れている	ダクトの状態を確認してください。 →11 ページ
		ダクトが長すぎる	ダクトを短くするか、ダクトの径と本数を見直してください。 →11 ページ

13. 交換部品

名称	品番	参考図	交換の目安
ガスケット	URT060-AB1-005		1 年
逆止弁	1005582		1 年
エアフィルタ	04012592		2 年
凝縮器フィルタ	0401394		2 年
ヒューズ 5A	270613LS		7 年
ヒューズ 15A	270615LS		
ヒューズ 30A	270617LS		

仕様

項目	単位	10 馬力 循環式	
		200V 仕様	440V 仕様
型式	-	URTJ-2-230A00-01	-
電源	-	三相 200V	-
周波数	Hz	50 / 60	-
冷房能力 ※1	kW	34 / 37	-
除湿能力 ※1	kg/h	26 / 29	-
法定冷凍トン	t	3.43 / 4.14	-
風量（定格）	m^3/min	55	-
風量（最大） ※2	m^3/min	100	-
機外静圧（定格） ※3	kPa	1.3	-
機外静圧（最大） ※4	kPa	2.1	-
定格電流 ※5	A	53 / 55	-
始動電流 ※5	A	262	-
発電機容量の目安	kVA	50	-
消費電力（送風）	kW	6	-
消費電力（冷房） ※1	kW	17 / 19	-
消費電力（除湿） ※1	kW	15 / 18	-
外形寸法 ※6	mm	B1600 × L1350 × H1510	
製品重量	kg	860	
圧縮機	-	全密閉スクロール 7.5kW	
送風ファン	-	EC プラグファン 3.7kW 相当	
凝縮ファン	-	EC 軸流ファン 1.5kW 相当	
冷媒	-	R410A 4.4kg	
保護装置	-	高圧圧力スイッチ，低圧圧力スイッチ，可溶栓，クランクケースヒータ 漏電ブレーカ，過電流継電器，逆相保護リレー，ヒューズ	
運転モード	-	送風，冷房，除湿	
風量切替	-	4 段階	
運転可能範囲	-	15～43℃（冷房，除湿）	

（※1）35℃，60%RH （※2）ダクト未接続時の風量 （※3）定格風量時の静圧 （※4）ファンの最大静圧
（※5）最大となる運転モード時の値 （※6）突起物を含まず

潮冷熱株式会社

URL ▶ e-mail ▶

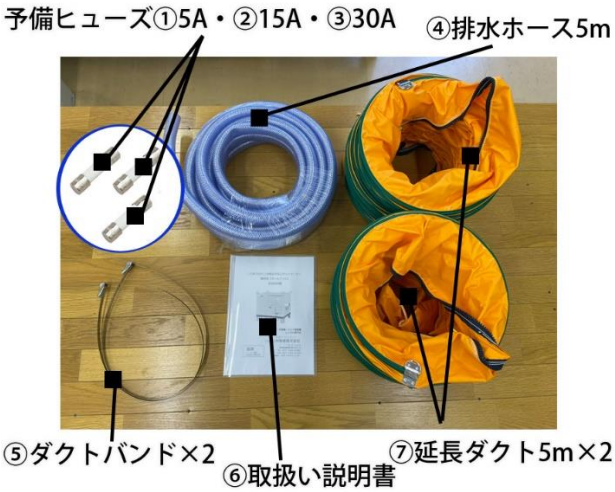
本社	〒794-0069 愛媛県今治市クリエイティブヒルズ 5 番地 3 アフターサービス窓口 TEL: 0898-34-1203 FAX: 0898-34-1204 e-mail: support@ushioreinetsu.co.jp 代表 TEL: 0898-34-1230 FAX: 0898-34-1231 e-mail: ushio@ushioreinetsu.co.jp
大西事業所	〒799-2206 愛媛県今治市大西町脇甲 883 番地 1 TEL: 0898-53-2400 FAX: 0898-53-6363
東京支店	〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 13 番 1 号 DLX ビルディング 10 階 TEL: 03-6205-7630 FAX: 03-6205-7631

管理番号: URTJ-2-230A00-M01-2 作成: 2022 年 3 月

＜三相 200V＞移動式大型スポットクーラー業務用

【オールクール】

返却時の梱包手順

①		・付属品があるかを確認して下さい。 ＊予備ヒューズは制御盤の下にある端子箱に張り付けてあります。
②		・付属品用の梱包箱に収納して、マジックテープを合わせて貼り合わせて下さい。
③		・A 面、B 面が正面にきて、吊金具の穴の位置を確認しながら上箱を被せて下さい。

④		・上箱のＡ面、Ｂ面の下に側面用のプラ段×２のＡ面、Ｂ面が対をなすようにマジックテープを合わせて貼り合わせて下さい。
⑤		・完成です。
	▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。 お届け時の伝票の下にある赤い伝票が 返却用の伝票です。 	

※ フォークリフトご使用時の注意　※

フォークリフトをご使用する場合、必ずフォークリフト差し込み面から差し込んでください。他の場所から差し込むと冷風機が故障する可能性があります。これが原因で故障した場合は修理代金を請求させていただきますので、あらかじめご了承ください。

貼り付けてあるシール